

愛媛大学女性未来育成センター Women Career Center at Ehime University Newsletter

<http://hime.adm.ehime-u.ac.jp/>

2011.3

3号

発行

愛媛大学女性未来育成センター

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

E-mail hime@stu.ehime-u.ac.jp TEL/FAX 089-927-8602

平成23年3月11日 愛媛大学総合情報メディアセンター・メディアホール

第1回 愛媛大学女性未来育成センター公開シンポジウム開催



▲大阪大学大学院 国際公共政策研究科長 松繁寿和先生

「ダイバーシティとワーク・ライフ・バランス」をテーマに、公開シンポジウムを開催しました。県内地元企業や地域の方々など、学内外87名の方にご参加いただきました。

柳澤康信学長による開会挨拶では、国立大学協会より女性教員の比率を2015年には17%に拡大する新たな数値目標が設定されたことが報告されました。また、城北キャンパス学内保育所が、8月1日開設に向けて急ピッチで進められていることが報告されました。

次いで、松繁寿和教授(大阪大学大学院国際公共政策研究科長)より、「労働力基盤の変化と日本経済復興のためのダイバーシティ」のテーマで、ご専門の労働経済学の視点からご講演いただきました。パネルディスカッションでは、まず、女性未来育成センター小島秀子センター長から事業説明がありました。次に、愛媛県男女参画課の山本亜紀子課長、松山市男女共同参画推進センターの鎌田サチ子館長、愛媛大学法文学部総合政策学科の兼平裕子教授、愛媛大学大学院理工学研究科の松永真由美講師の各代表の方々より、取組例や事例を交えた紹介があり、大学関係者や愛媛県の地元企業や地域の方々との幅広い意見交換の場となりました。



▲パネルディスカッション パネリストの5名

平成23年2月23日 高松シンボルトワー 国際会議場

【共催】第1回 四国女性研究者フォーラム (香川大学主催)



第1回四国女性研究者フォーラムを、徳島大学・鳴門教育大学・高知大学と共に愛媛大学が共催しました。基調講演では、香川大学男女共同参画推進室アドバイザーの都河明子先生が講演され、パネルディス

カッションでは、「四国で女性研究者を育む～大学における女性参画のビジョンを語る～」と題して、当大学からは女性未来育成センター小島秀子センター長が参加しました。他のパネリストの方などと意見交換を行った後、最後に四国国立5大学の学長(徳島大学長・鳴門教育大学長・香川大学長・愛媛大学長・高知大学長)により発表された「四国内国立5大学による男女共同参画推進共同宣言」が、読み上げられました。(宣言文はHPでご覧いただけます)

第2回四国女性研究者フォーラムについて

次回フォーラムは、愛媛大学女性未来育成センター主催で行います。詳細が決まり次第、ホームページで発表いたします。

平成23年2月15日 愛媛大学理学部総合研究棟

【共催】第3回 グローバルCOE キャリアパス講座

「女性研究者支援モデル育成」事業の一環として、第3回グローバルCOEキャリアパス講座に共催しました。講演では、石塚真由美先生(北海道大学大学院獣医学研究科教授)より、キャリアパス形成や北海道大学における女性研究者支援内容の紹介と、女性研究者としてのキャリア形成やワーク・ライフ・バランスについてお話しいただきました。

パネラーによるキャリアパス形成の経験談の紹介の後に、石塚先生・小島センター長と会場参加者も交えた意見交換が行われました。

平成21年度～22年度実施

愛媛県「女子高校生の理工系チャレンジ支援事業」について

愛媛県主催の本事業は、理工系分野に関心を持つ女子高校生を対象に、自らの個性や能力をいかせる主体的な進路選択を支援することを目的として、愛媛大学及び県内企業の協力を得て実施したものです。

事業レポート

平成21年度は、県内9校から49名の参加により、8月17日(月)、18日(火)の2日間で実施しました。1日目は、愛媛県男女共同参画会議委員の菊池裕子氏の講義や愛媛大学大学院教授の小島秀子氏の講演、工学部の研究室訪問、大学院生との交流会を、2日目は、東レ愛媛工場及び三浦工業で、企業見学や女性研究者との交流会を行いました。

平成22年度は、県内15校から50名の参加により、8月18日(水)、19日(木)の2日間で実施しました。1日目は、大学院教授の佐藤久子氏の講演や、新たに理学部も加えた研究室訪問、大学院生との交流会を、2日目は、東レ愛媛工場及びパナソニック四国エレクトロニクスで、企業見学や女性研究者との交流会を行いました。

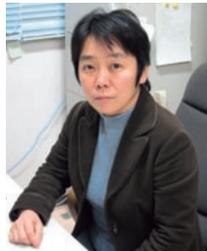
定員を大きく上回る応募があるなど女子高校生の関心も高く、終了後のアンケートでは、「いろいろな人の話が聞けてよかった」、「進路選択の参考になった」などの感想が寄せられ、48名(22年度)から「理工系に進みたい」という回答をいただきました。



平成23年度からは当センターが上記事業を引き継ぎ、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業の一環として行います。詳細が決まり次第、HP内やニュースレターでお知らせしていきます。

センター長対談ダイジェスト VOL.1 山田容子先生 大学院理工学研究科 准教授

平成23年1月に奈良先端科学技術大学院大学へご転出された山田先生に、愛媛大学で過ごされた日々の出来事や想いをお話し頂きました。(取材日 平成22年11月23日)



▲山田 容子先生

(対談より一部抜粋、再編集)

- 小島** 先生はお子さん2人を抱えての仕事が続けていらっしゃるんですね。子育ては大変な面ばかりが表に出がちですが、子どもがいて良かったと思うことはありますか？
- 山田** 自分ではありえない、違う人生を見られる面白さがあります。3人分の人生を体験できますよ。とりたてて何かがあるというわけではないですし、しんどいこともあります。大変なことばかりじゃないです。絶対に子どもたちがいて良かったと思います。
- 小島** 子育てにはサポート機関を利用してこられたと聞きました。
- 山田** 愛媛大に赴任してすぐに市役所のファミリーサポートに登録しました。

- 小島** 学会などで遠方へ行けるように、夜預かってくれる施設があればいいですね。
- 山田** 遠くても保育園の頃までは連れていけますが、学校に上がると子どもには子どもの生活があるので泊まりの出張は難しくなります。ただ、夜預かってくれる施設はありがたいのですが、子どもも成長すると知らない人の家にいきなり泊まるのは難しいので、預けるのもなかなか……。
- 小島** 信用できる人なら良いですけどね。
- 山田** そうですね、普段知っている人なら別ですが……。子どもたちを、それぞれ友達の家泊まらせてもらってしのいだこともありました。サポート制度が必要なのは大前提なのですが、システムがあっても子どもにも感情がありますから、簡単ではなくなります。子どもも子どもなりに遠慮して、気を使っている部分もあると思います。
- 小島** 安心して学会に行くためのサポート制度は工夫が必要ですね。(つづく)

——ホームページにて全文をご覧頂けます→

<http://hime.adm.ehime-u.ac.jp/>



メールマガジン配信

女性未来育成センターの取り組みなど様々な情報をお届けしています。配信希望の方はこちらまでご連絡ください。
hime@stu.ehime-u.ac.jp